

# ALL白浜 スタッフ おすすすめ

# 南紀白浜温泉の魅力 その1 パワースポット編

日本三古湯として名高い南紀白浜温泉。ここには、豊かな歴史に由来する社寺や史跡が沢山あります。今回は6つの神社をピックアップしてご案内します。

- ①熊野三所神社 ②藤九郎神社
- ③阪田神社 ④太刀ヶ谷神社
- ⑤熊野神社 ⑥山王神社

お問い合わせ：ALL白浜事務局  
(公式案内所ギャラリーしらすな)  
TEL.0739-43-1618



**謎** いにしえ人が何か意味を込めたのでしょうか？熊野三所神社を中心に45度、放射状に引いた線の上に多くの神社が位置しています。

**①熊野三所神社**：今から1354年前(西暦657年)に有間皇子が南紀白浜温泉に療養に来られ、「風景を見ただけで、病が治りましたよ」と伯母である齊明天皇に報告しました。天皇は大変喜び自分も行ってみたく思われたと日本書紀に書かれています。その翌年、齊明天皇が中大兄皇子をはじめ都の中樞の人達を全て引き連れて、ここ南紀白浜温泉で2ヶ月半を過ごしました。この熊野三所神社の鎮守の森を御船山といい、齊明天皇の行宮跡があったことや皇居山とも呼ばれていたことなどが古い書物に記されています。境内には火雨塚古墳という石室を持つ立派な古墳や鬱蒼とした神社の社叢は県指定文化財に登録されています。また、行幸のさいに船を着けたとされる御船の谷なども史跡として残っています。

ご神体は本殿の下に埋められた齊明天皇の御座石で、小舟の形をした自然石だそうです。本殿横に据えられている齊明石という大きな石をはじめ、御船山には磐座と考えられる巨石群がいくつかあります。齊明天皇は有能なシャーマンとして祭祀を行ったと言われています。小舟形の石なども天皇の神仙思想のあらわれでしょうか。奈良県明日香村では、齊明天皇当時の驚くような遺跡が数々発見されています。



## 由来いろいろ海難を救う神様

**②藤九郎神社(徳勒津宮)**：小さな祠ながら、昔から名高い神様。多くの古い書物に記されています。海難を救う神として、近隣の漁師や船乗りの信仰を集めています。この地域の「瀬戸」という地名はもともと「迫門：※海峡の意味」からきていて、この神社の前は海であったと考えられます。舟から供え物を海に投げると、海流に運ばれ必ず社前に届いたと言伝えられています。この神社の特徴として、さまざまな由来や伝承が伝えられていることが挙げられます。

①鎌倉時代の武士で源頼朝の家臣であった安達藤九郎盛長の霊を祀っているという説。安達藤九郎盛長の墓と伝えられているものは全国各地にあり、白浜を訪れた資料もないため、直接的な関連は薄いと言推測されます。②流れ着いた鵜を祀るという説。ドクロ→トクロと訛った。③瀬戸に漂着した箱舟から現れた老人を祀るという説。老人(賢者)が現れて様々な利益をもたらしてくれる伝承の一つの累計であると考えられます。④仲哀天皇の行宮である徳勒津宮が訛って、「トコロ」の宮→「藤九郎」の宮となった説。数々の行幸があった当地においては、可能性として充分考えられることで、寛政年間の「熊野巡覧紀」、文政の「ます穂のすすき」などの記述や南方熊楠も同様の指摘をしています。ここの社叢も素晴らしく、「鳥居の内に入って木の葉一つでもとれば崇りにあう」と言い伝えられ守られてきました。

## 1300年以上も前の祭祀遺跡

**③阪田神社(歡喜神社)**：この神社の前は、現在ではグラウンドや会館などの施設が建てられていますが、もとは波静かな入り江で、まとまった数の民が集落を営んでいたものと考えられます。白浜町発祥の地として、この地を1の1番地として登録されて

います。阪田山祭祀遺跡は1300年以上前の社殿などを持たない古いかたちの神道の祭祀遺跡です。この神社の社叢も素晴らしく、境内も穏やかで爽やかな風が流れています。



阪田神社(上)と太刀ヶ谷神社



## 神武天皇の「太刀」由来の神社

**④太刀ヶ谷神社**：神武天皇が東征の時に、この地上陸され、太刀を埋め戦の勝利を御祈願されたとの由来があります。この神社には、この太刀が存在したらしいが、いつの頃から行方不明になったとの事です。この神社の沖に浮かぶ島は、神武天皇が上陸され、旗を上げられた「旗上げ島」が訛って「島島」になったという伝承があります。

## 逸話も豊富、復活した桜の名所

**⑤熊野神社**：熊野本宮大社の神様が最初に鎮座した場所と伝えられる神社。「浪の音きかぬがための山ごもり、苦は色かえて松風の音」という歌が詠まれています。波の音

があまりにもうるさかったので本宮の地に移られたそうです。歴史の深さをあらわすように、神社の後ろには8基の古墳があり「権現平古墳群」と呼ばれています。この神社、春には桜の名所として賑わいます。ここの桜は、「紀州権現桜」と呼ばれ美しい山桜なのですが、戦後伐採されてなくなってしまったのを惜しみ、研究者が熊野平に残っていた種から、見事に復活させたとのこと。小泉純一郎元首相が熊野を訪れ、本宮大社に記念の植樹をした木が、この神社から持っていった桜だそうです。神社があるところは海に面した平らな台地で、周囲の風景もそれは素晴らしいものです。



熊野神社(上)と山王神社



## 芸事の上達と商売繁盛の神様

**⑥山王神社**：白浜新地の芸妓さんたちが、熱心にお参りをしてきた神社。芸事の上達と商売繁盛の神様として人気があります。夜は提灯でライトアップされ新地の街を彩っています。

## ここだけの話 洞の中の夕日が沈むまでに願い事を...

夕陽の名所として人気の円月島。島の真ん中にぽっかり空いた海蝕洞に夕陽がすっぽり収まる美しい時間。人々は神秘的な夕陽を楽しむとカメラを手に大勢集まります。



1時間程の雄大なドラマ。臨海浦は巨大なシアターに変わります。「夕日が沈むまでに洞の中の太陽に願いごとをすると、叶う…」ロマンチックな噂もつづやかれる今日この頃です。



本殿横の齊明石

熊野三所神社の境内は荘厳な雰囲気です(上)。白浜の奥に位置し、境内が白砂で覆われています(右の写真)この神社を特別なものにしていきます(右の写真)